

2021生態工学会 年次大会プログラム

令和3年6月25日(金)~6月26日(土)

2020年6月25日(金)

9:30-9:55 Zoom 会議室接続確認

9:55-10:00 開会式

■ Eco-Engineering International ONLINE-symposium 2021

10:00-10:03 Opening

Chair, Ryosuke ENDO, Osaka Prefecture University

Co-chair, Masato ENDO, Tokyo University of Marine Science and Technology

10:05-10:20 Field implementation of constructed wetland with reactive media for remediation of municipal landfill leachate

Dr. Chart Chiemchaisri, Kasetsart University, Thailand.

10:20-10:35 The potential application of cyanobacteria for environmental remediation

Hiroshi KATOH, Mie University, Japan

10:35-10:50 Study on the material flow of saline aquaponics with rainbow trout and ice plant

Masato ENDO, Tokyo University of Marine Science and Technology

10:50-11:05 Effluent of anaerobic treatment system from molasses based ethanol production: treatment and possible application

Dr. Nuttakan Nitayapat, Kasetsart University, Thailand.

11:05-11:20 Resource recovery of surplus cattle and swine manure, treated with ozone microbubbles and applied to hydroponic cultivation of algae and fungi as fertilizer

Hideo MINAGAWA, Kitazato University, Japan

11:20-11:35 Development of circular bio-based hydroponics for space and urban agriculture

Ryosuke ENDO, Osaka Prefecture University

11:35-12:00 Panel discussion

12:00-13:00

お昼休み

■ 年次総会・学会賞表彰式・受賞者講演

13:00-13:55 年次総会

13:55-14:15 学会賞表彰式

14:15-14:45 学会賞受賞者講演 2021年度 生態工学会 学術賞 土肥哲哉会員

14:45-14:55

休憩

■ オーガナイズドセッション01「研究成果の実用化、特に企業との関係で重要な視点」

オーガナイザー:2021 生態工学会年次大会実行委員会

14:55-14:56 セッション趣旨紹介

寺添 斉 (実行委員会事務局)

14:56-15:25 生物処理における SDGs に向けた電力削減・高度処理のための自動制御の重要性—AOSD システム導入を例とした解析評価—

稲森悠平 (バイオエコ技研)

■ オーガナイズドセッション02「NPO法人の活動で地球環境に貢献」

オーガナイザー:篠崎正利 (NPO 法人蔵前バイオエネルギー、略称 K-BETS)

15:25-15:28 セッション趣旨紹介

篠崎正利 (K-BETS)

15:28-15:35 ウガンダにおけるバイオ炭製造方法の改良

○宇都宮千亜希、篠崎正利 (K-BETS)

- 15:35-15:42 **果実糖度の重量依存性に及ぼすポーラス竹炭の影響**
○篠崎正利、河野通之、福島 巖、荒川英敏、岸本直彦 (K-BETS)
- 15:42-15:49 **里山への炭埋設による土壌改良効果**
○田中優子 (K-BETS)、篠崎正利 (K-BETS)
- 15:49-15:56 **里山における竹林の現状**
○菊川照英 (NPO 法人フォレストぐんま21)、篠崎正利 (K-BETS)
- 15:56-16:03 **竹炭製造廃熱を利用した発電実験**
○篠崎正利 (K-BETS)、目黒 奨、児子精祐 (NIMS)、鹿嶋與一 (NPO 法人竹もりの里)
- 16:03-16:10 **世界の水紛争**
○伊藤規志子 (ぶんかサイエンスカフェ)、篠崎正利 (K-BETS)
- 16:10-16:17 **竹粉の発酵メカニズムと応用**
○篠崎正利 (K-BETS)、鹿嶋與一 (NPO 法人竹もりの里)、
千葉美賀子 (一般社団法人もりびと)
- 16:17-16:24 **間伐材搬出の新方式開発**
○米谷栄二、清田憲正、宮地利彦、篠崎正利 (K-BETS)

16:25-16:35 **休 憩**

■ **次世代応援シンポジウム2021**

「閉鎖環境における well-being～社会参加寿命延伸、ジェンダード・イノベーション」

主催：次世代科学社会活性化委員会

司会：次世代科学社会応援シンポジウム2021 実行委員長 清水美穂 (東京農工大)

- 16:35-16:36 **シンポジウム趣旨紹介** 横谷香織 (筑波大)
- 16:36-16:51 **細胞を覗いて感じた小宇宙と私のいのち～ α B-クリスタリン&チュブリンダイナミクスを通じて**
○堀ノ内慎哉 (東京農工大)
- 16:51-17:16 **1日1回、私の身体の細胞とのコミュニケーション：仰臥位で行うボディフルネス～身体チューニング法～の発見**
○跡見順子 (東京農工大)
- 17:16-17:34 **総合討論 (パネル)**
- 17:34-17:35 **終わりの挨拶** 次世代科学社会応援シンポジウム2020 実行委員長 加藤浩 (三重大)

17:35-18:30 **休 憩**

■ **オンライン懇親会**

18:00-19:30

6月26日(土)

8:10- 8:40 Zoom 会議室接続確認

■ 口頭発表

● セッション1 [健康と安全・宇宙利用・宇宙実験・バイオマス生産]

座長: 桜井誠人 (JAXA)、篠原正典 (帝京科学大)

- 8:40- 8:55 01 COVID-19 の飛沫感染を考慮した室内での安全な暴露時間とソーシャルディスタンスの検討
○宮嶋宏行 (国際医療福祉大)
- 8:55- 9:10 02 理科教育にも提供可能な簡易型3D-クリノスタット
○高瀬由杏(筑波大)、寺尾卓真(宇宙システム開発)、横谷香織(筑波大)
- 9:10- 9:25 03 樹皮組織の宇宙利用—ジャガイモを利用した基礎実験
○月崎遥太 (筑波大)、鈴木利貞 (香川大)、富田—横谷香織 (筑波大)
- 9:25- 9:40 04 陸棲藍藻 Nostoc sp. HK-01 の乾燥期間と発芽の関係
○鴫田未来(筑波大)、オン碧(筑波大)、加藤浩(三重大)、横谷香織(筑波大)
- 9:40- 9:55 05 シオミズツボウムシ用保存餌に関する基礎的研究
○岡田阜希、遠藤雅人 (東京海洋大)

9:55-10:05

休憩/座長・発表者確認

● セッション2 [生体情報・植物モデル・植物工場・物質循環]

座長: 土肥哲哉 ((一社)日本有機資源協会)、中林和重 (明治大)

- 10:05-10:20 06 R-CNN を活用したスマートフォンによるイチゴ個体群の生育調査
○戸田清太郎(豊橋技科大院工)、坂本哲隆(愛媛大院農)、丸小凌我(愛媛大農)、藤内直道(愛媛大院農)、高山弘太郎(豊橋技科大院工、愛媛大院農)
- 10:20-10:35 07 植物の VOC 吸収モデルにおける顕微鏡画像を用いた細胞内パラメータの決定
○山根水月 (静岡県立大)、谷 晃 (静岡県立大)
- 10:35-10:50 08 レタス栽培に於ける風によるチップバーン抑制効果
○坂幸憲 (CKD(株))、山口夕、畦地学 (大阪府大)
- 10:50-11:05 09 レタス水耕栽培とドジョウ養殖を組み合わせたアクアポニックスにおける生物生産に及ぼす養殖密度の影響
○川本尚茂、北宅善昭、渋谷俊夫、遠藤良輔 (大阪府大)

11:05-11:15

休憩/司会・発表者確認

■ オーガナイズドセッション03「生物のつながりと環境修復」

オーガナイザー:加藤 浩 (三重大)

- 11:15-11:16 セッション趣旨紹介 加藤 浩 (三重大)
- 11:16-11:24 イシクラゲを用いた環境修復の可能性
○加藤浩 (三重大)
- 11:24-11:39 閉鎖生態系における植物を中心とした生物間相互作用
○横谷香織 (筑波大)
- 11:39-12:09 侵食防止・緑化資材の生態系に及ぼす影響
○丸本卓哉 (多機能フィルター株式会社)
- 12:09-12:14 総合討論
- 12:14-12:15 挨拶 加藤 浩 (三重大)

12:15-13:00

お昼休み

■ ポスターセッション

13:00-14:00 コアタイム

- P01 独立トレイ方式による節水型栽培システムの開発
ー培養液濃度とエアレーションがレタスの生育に及ぼす影響ー**
○林伯諺、大石裕美子、中村謙治（エスペックミック）、和田光生、北宅善昭（大阪府立大）
- P02 養液土耕栽培におけるサンゴ砂礫の有無および肥料の違いがミニトマトの収量や品質に及ぼす影響**
○田中雅哉、中林和重、山口悠斗（明治大学農学部）
- P03 石膏とシリカゲルを培地としたミニトマトの養液栽培法**
○中林和重、目崎凱己（明治大学農学部）
- P04 培養液のカルシウムおよびマグネシウム濃度がミニトマトの生育と品質に及ぼす影響**
○目崎凱己、中林和重（明治大学農学部）
- P05 サンゴ砂礫栽培における培地量と培養液濃度および給液方法の違いがミニトマトの生育と果実品質に及ぼす影響**
中林和重、進藤圭太、○石原滉士（明治大学農学部）
- P06 サンゴ砂栽培における品種と培地量の違いおよび培地資材へのコーティングの有無がミニトマトの生育と果実品質に及ぼす影響**
○進藤圭太、中林和重（明治大学農学部）
- P07 低圧環境下での可溶性糖の蓄積と窒素吸収がトレニアの生殖成長に与える影響**
○島田明典（玉川大・院）、森直哉（玉川大・学術）、雨木若慶（東農大）、渡邊博之（玉川大・院）
- P08 光質がアマランサスの生育および無機成分と機能性成分に与える影響**
○泊由紀子（玉川大・農学部）、Gauri Maharjan（Signify N. V.）、森直哉（玉川大・学術研究所）、渡邊博之（玉川大・農学部）
- P09 異なる大麦品種で作製した餃子皮の特性評価**
○藤本明（宇都宮大大学院）、齋藤高弘（宇都宮大）、江小涛（株式会社 JcT クリエーションズ）、田村匡嗣（宇都宮大）
- P10 タンポポの生存戦略-生息環境の変化と種の保存-**
○白井風雅（県立千葉中）、白井睦（東医大茨医セ共研セ）
- P11 分裂酵母の乾燥保存時の湿度と生存率に関する研究**
○加藤 浩（三重大）
- P12 アクリル水槽の壁面部分による水槽内への光反射の影響**
○三橋水樹香、増田篤稔、吉川朋子（玉川大院）
- P13 生態系プロセスモデルを用いた太陽光励起クロロフィル蛍光のシミュレーションおよび衛星観測データを用いた検証**
○宮内達也（国環研）、齋藤誠（国環研）、野田響（国環研）、吉田幸生（国環研）、押尾晴樹（東工大・国環研）、伊藤昭彦（国環研）、松永恒雄（国環研）
- P14 セマンティックセグメンテーションによる台風の森林被害調査手法の開発**
○細井文樹（東大）、梅山 翔（東大）

■ オーガナイズドセッション04「生態工学会若手の会のキャリアパス」

オーガナイザー:若手の会 会長 鵜田未来 (筑波大)

座長: 木村駿太 (JAXA)

- 14:15-14:20 **セッション趣旨紹介** 鵜田未来 (筑波大)
- 14:20-14:40 **好きと仕事の境界線**
○金澤佳子 (H.M. マーケティングリサーチ)
- 14:40-15:00 **私のおかしなキャリアパス**
○寺尾卓真 (宇宙システム株式会社)
- 15:00-15:10 **総合討論**
- 15:10-15:15 **終わりの挨拶**

15:15-15:30

休 憩

■ 一般公開特別講演会

司会: 村上克介(三重大)

- 15:30-16:15 **天然記念物新宮藺沢浮島の体重測定**
三重大学生物資源学研究科 共生環境学専攻 教授 加治佐 隆光
- 16:15-17:00 **アコヤガイ真珠のでき方と品質を決める要因**
三重大学生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻 教授 古丸 明

■ 閉会式・表彰式

- 17:00-17:10 **表彰式**
- 17:10-17:15 **閉会のご挨拶** 2021 生態工学会年次大会実行委員長 加藤 浩 (三重大)

■ 若手の会オンライン懇親会

- 17:30-19:30 生態工学会の若手(主に学生会員)を中心に、研究や学校生活のことなど、分野を問わず情報交換を行うことで、会員同士の親睦を深める場にしたいと思います。